

**【大阪府大阪市】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）**

自治体名	大阪府大阪市
担当課名	指導部保健体育担当
電話番号	06-6208-8172

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	約2,773,000人	部活動数	1,049部活
公立中学校数	128校	協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
公立中学校生徒数	約51,000人	推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

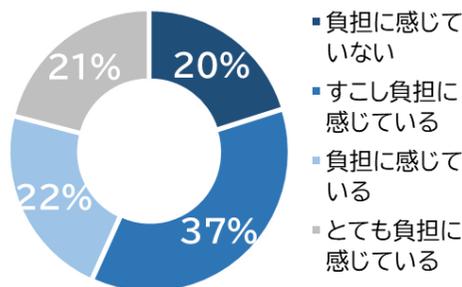
少子化の進展と生徒数の減少

- 在籍生徒数は、令和5年までの25年間で△11,500、部活動入部率は、運動部男子で△約6%、女子で△約7%
- 15歳未満の人口が、2045年には2020年の約6割となる区が複数存在
- 市内の地域によって状況は異なるが、生徒が将来にわたってスポーツ・文化芸術に触れる機会の確保が大きな課題

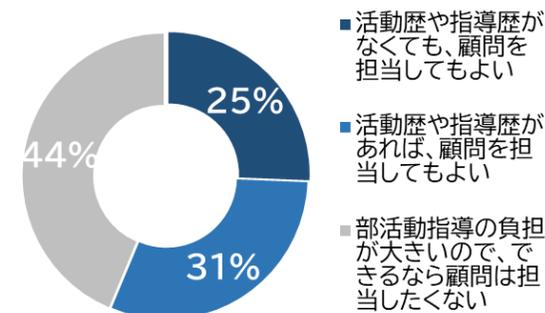
部活動改革と教員の働き方改革

- 2012年の本市立桜宮高等学校での体罰事案発生を踏まえ、「大阪市部活動指針～プレイヤーズファースト」を策定し、様々な部活動改革を実施、部活動指導員の活用では530人分の予算措置を行って顧問教員の負担軽減に努めている
- 中学校教員の時間外勤務の月平均が43時間（R4.12時点）
- 部活動を負担と感じている教員の割合が8割に及ぶ
- 顧問教員の負担軽減が引き続き大きな課題

現在の部活動指導に携わる負担感



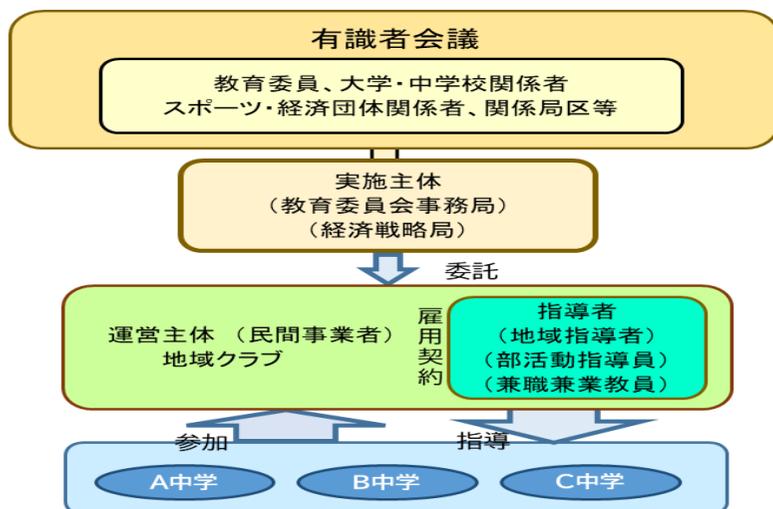
部活動顧問を担当する意思について



2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

【地方公共団体内における役割分担】

部署名	関わり方・役割
教育委員会	実証事業全体の総括、運営団体による事業実施の補助・支援
首長部局	スポーツチーム、スポーツ関係団体等との連携、連絡調整等

【関係団体一覧】

団体名	関わり方・役割
大阪商工会議所	企業等の連携
大阪市中学校体育連盟	大会参加等の検討
大阪市立中学校文化連盟	大会参加等の検討
大阪市スポーツみどり財団	各スポーツ協会との連携
大阪市PTA協議会	PTAとの協力・連携
大学等	指導者への研修、実証実験等の連携

年間の事業スケジュール

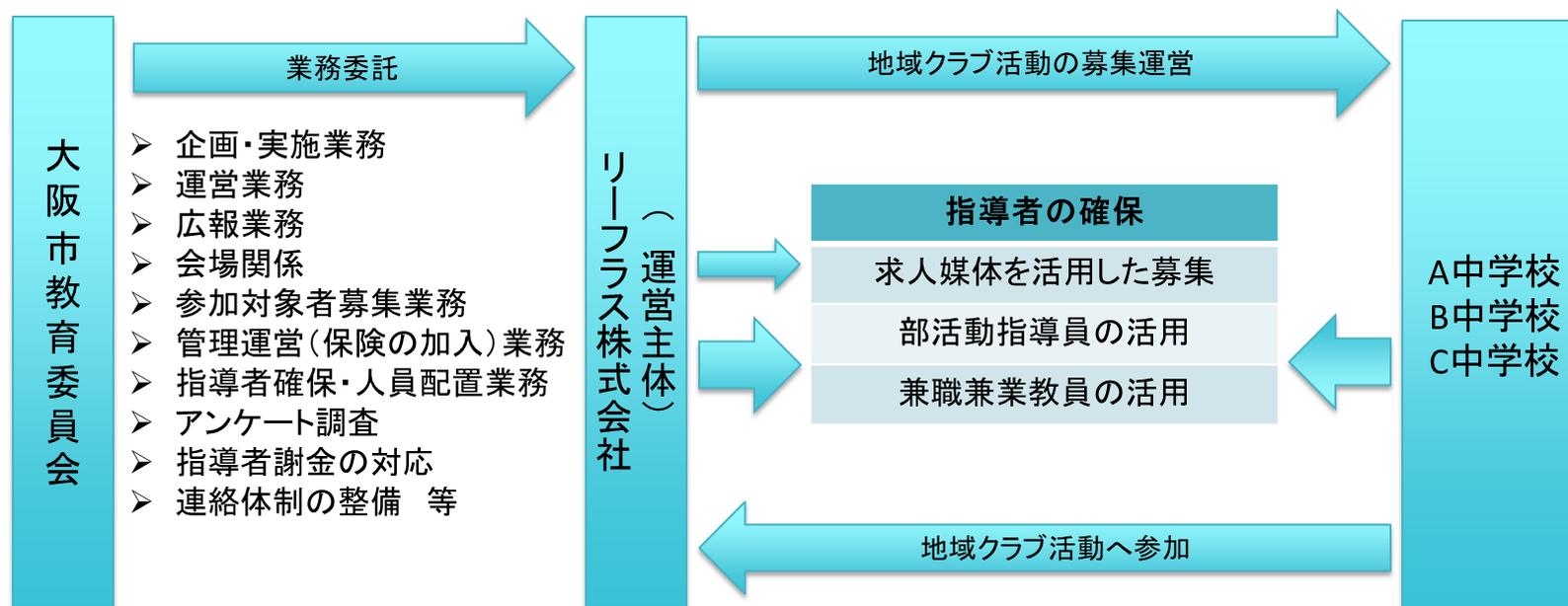
月	計画事項
4月	部活動の地域移行事業の業務委託の公募
6月	業務委託事業者の決定
7月	業務委託契約締結・事業開始
8月	第1回検討会議の開催（関係者間の顔合わせ、方針の確認）
	拠点校における実施準備
9月	地域指導者向け研修会①の実施、教師の兼業兼職にかかる説明会の実施
10月	地域スポーツクラブ活動の活動開始
12月	部活動の在り方研究及び地域連携・地域移行に関する有識者会議①
	第2回検討会議の開催（まとめ、来年度に向けた検討課題）
2月	地域スポーツクラブ活動終了
	生徒・参加生徒保護者・対象校 アンケート調査実施
	部活動の在り方研究及び地域連携・地域移行に関する有識者会議②
3月	事業完了報告書・成果報告書等の作成

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点校数	14校	地域クラブ活動種目	陸上男女・男子バスケ・女子バスケ・空手・サッカー男女・ダンス男女・男子バレー・女子バレー・野球男女・卓球男女・バドミントン男女・女子ソフトテニス・ラグビー男女・少林寺拳法男女・茶道・吹奏楽男女・柔道・ボート男女・水泳
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	37部活		

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



活動概要

運営主体名と運営類型	リーフラス株式会社（民間スポーツ事業者運営型）
拠点名と設定種目	桜宮スポーツクラブのほか、市内4拠点でそれぞれ複数中学校を対象に拠点校を設置し7～8種目を実施
1か月あたりの平均的な活動回数	10月～2月で各種目3回
指導者の主な属性	主任：事業者社員、副主任：運営主体による公募
活動場所と主な移動手段	拠点校の施設 徒歩もしくは自転車
1人あたりの参加会費、保険料	無料（委託料に含む）

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

拠点名と 設定種目	桜宮スポーツクラブ 6種目（みんなの水泳教室、Danceのススメ！、柔道、ボート、男子バレー、女子バレー）
	拠点1：東淀川区 8種目（ラグビー、バドミントン、陸上、野球、サッカー、男子バスケ、女子バスケ、女子ソフトテニス）
	拠点2：都島区A 4種目（陸上、野球、サッカー、男子バスケ）
	拠点2：都島区B 4種目（陸上、卓球、男子バスケ、女子バスケ）
	拠点3：西区 8種目（陸上、サッカー、ダンス、茶道、空手、男子バスケ、女子バスケ、女子バレー）
拠点4：東住吉区 7種目（サッカー 女子バレー ダンス バドミントン バスケ 少林寺拳法 吹奏楽）	

【桜宮スポーツクラブ】

- 都島区内5中学校をはじめ近隣区の中学校対象
 - 桜宮高校を拠点に、種目を自由に選択
 - ボート、障がいに関係なく楽しむ水泳、ダンスなど6種目
 - 中学校の連携、桜宮高校生との交流
 - アスリートや地域貢献企業との積極的なコラボ
- 今年度から民間事業者に運営を委託

【4拠点モデル事業】

- 複数校単位で様々な種目を自由に選択
- 拠点によっては校下小学生も参加可能
- アスリートによる指導機会あり

民間事業者に運営を委託



2. 実証内容と成果

主な取り組み例：桜宮スポーツクラブ

水泳教室 (男女) 先着30名

11/25(土) みんなの水泳教室
10:00~11:00
桜宮高校/プール

12/16(土) 1部 みんなの水泳教室
10:00~11:00
2部 泳力向上コース
11:00~12:00
桜宮高校/プール

みんなの水泳教室講師

1992年バルセロナオリンピック出場。1996年アトランタオリンピック出場 (自由形)
2000年シドニーオリンピック出場。2004年アテネオリンピック出場 (アーティスティックスイミングチーム)

Danceのススメ!! (男女) 先着20名

11/18(土) 9:00~11:00
桜宮高校/5Fゼミ室



講師

競技エアロビクス世界大会[シングル部門]優勝6回(91年~96年) コンディショニングエクササイズ、ピラティスなどのマスタートレーナーの資格を保有するスポーツインストラクターの第一人者。エアロビクスの要素を取り入れた様々なステップにより、体幹も鍛える教室も開催! ライフスポーツKTV所属、インストラクターミズノアドバイザースタッフ。

柔道 (男女) 先着30名

10/21(土) 9:00~11:00
桜宮高校/柔道場

11/4(土) 9:00~11:00
桜宮高校/柔道場

ボート (男女) 先着30名

10/21(土) 9:30~11:30
桜宮共同艇庫

11/18(土) 9:30~11:30
桜宮共同艇庫

男子バレーボール 先着30名

10/7(土) 9:00~11:00
桜宮高校/体育館

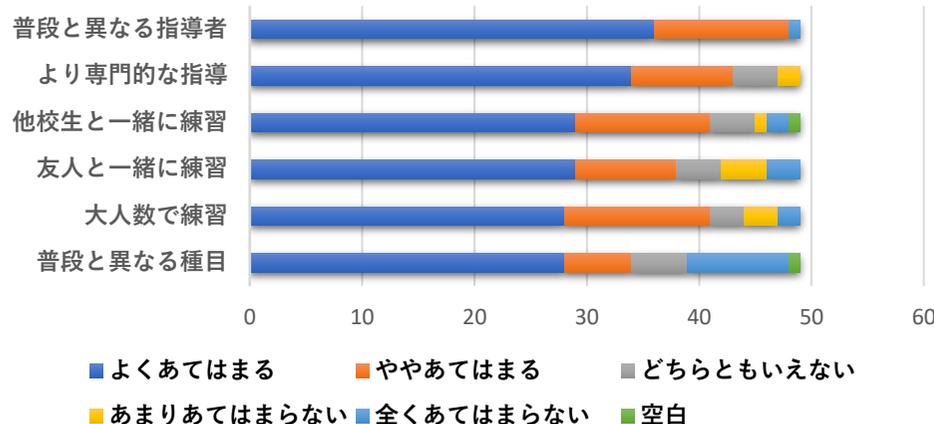
女子バレーボール 先着30名

12/2(土) 9:00~11:00
桜宮高校/体育館

種目	都島区内 中学校	北区内 中学校	福島区内 中学校	旭区内 中学校	合計	
					参加	欠席
男子バレー	4	3	10	2	19	5
柔道	3	10	0	3	16	5
ボート	3	0	1	2	6	4
Danceのススメ!	9	0	0	0	9	1
女子バレー	1	1	2	0	4	3
みんなの水泳教室	17	3	0	0	20	3
みんなの水泳教室	25	3	1	1	30	7
水泳 (泳力向上 コース)	29	3	1	6	39	9
合計	91	23	15	14	143	37

非常に満足・満足
86%

肯定的な満足度×期待した価値



2. 実証内容と成果

主な取組み例：東住吉区

サッカー男女 先着30名

11/11(土) 8:30~10:30
矢田中学校 / グラウンド

1/20
来場!

12/16(土) 8:30~10:30
矢田中学校 / グラウンド

1/20(土) 8:30~10:30
矢田中学校 / グラウンド

講師 黒田 誠
ベガルタ仙台やジュビロ磐田、サガン鳥栖などJリーグ8クラブで活躍。世代別日本代表にも選出される。引退後は指導者としても活動中。

少林寺男女 先着30名

11/11(土) 13:00~15:00
矢田西中学校 / 多目的室

1/20
来場!

12/16(土) 8:30~10:30
矢田西中学校 / 多目的室

1/20(土) 8:30~10:30
矢田西中学校 / 多目的室

講師 黒田 誠
中学でのいじめをきっかけに格闘技を始め、大学で少林寺拳法を学び、正範士七段に。ナショナル考試審判員、2014年より大阪府選理理事長。

女子バレー 先着30名

11/11(土) 10:30~12:30
矢田中学校 / 体育館

1/20
来場!

12/16(土) 10:30~12:30
矢田中学校 / 体育館

1/20(土) 10:30~12:30
矢田中学校 / 体育館

講師 黒田 誠
2009年久光製薬スプリングス(現久光スプリングス)に入団。チームを5度の優勝に導く。2012年ロンドン五輪バレーボール女子銅メダリスト。

ダンス男女 先着30名

11/11(土) 10:30~12:30
矢田中学校 / 多目的室

1/20
来場!

12/16(土) 10:30~12:30
矢田中学校 / 多目的室

1/20(土) 10:30~12:30
矢田中学校 / 多目的室

講師 黒田 誠
ストリートダンスを幅広く学び、高校時代にダンス部で世界大会優勝。関西大手テーマパークでのダンサー出演や、バックダンサー、メディアに出演するなど活躍中。

バドミントン男女 先着30名

11/11(土) 8:30~10:30 矢田南中学校 / 体育館

12/16(土) 13:00~15:00 矢田南中学校 / 体育館

1/20(土) 13:00~15:00 矢田南中学校 / 体育館

バスケ男女 先着30名

11/11(土) 8:30~10:30
矢田南中学校 / 体育館

1/20
来場!

12/16(土) 13:00~15:00
矢田南中学校 / 体育館

1/20(土) 13:00~15:00
矢田南中学校 / 体育館

講師 黒田 誠
福岡市立長丘小学校時代全国大会優勝。ジュニアオールスター優勝。大塚高校時代はインターハイ2位、国体優勝、ウィンターカップ2位、専修大学ではMIP受賞、B.Leagueで11年活躍。

吹奏楽男女 先着30名

11/11(土) 10:30~12:30
矢田南中学校 / 音楽室

1/20
来場!

1/18(木) 16:00~18:00
矢田南中学校 / 音楽室

1/20(土) 13:00~15:00
矢田南中学校 / 音楽室

講師 黒田 誠
大阪音楽大学器楽学科ホルン専攻卒業、1990年よりオオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラに所属。吹奏楽指導、金管アンサンブル、室内楽、ソロ活動など活躍中。

アクセス

矢田中学校(正門に集合)
〒546-0022 大阪府大阪市東住吉区住道矢田9丁目7-55

矢田西中学校(南門に集合)
〒546-0024 大阪府大阪市東住吉区公園南矢田2丁目12-47

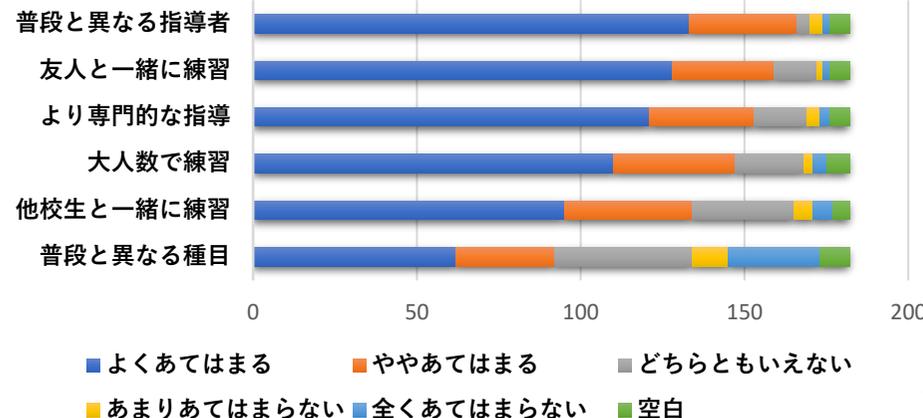
矢田南中学校(正門に集合)
〒546-0023 大阪府大阪市東住吉区矢田3丁目4-27

地図で確認!

部活名	矢田中	矢田南中	矢田西中	小学校6年生	合計	
					出席	欠席
サッカー	28	0	7	6	41	1
少林寺拳法	0	2	4	2	8	2
ダンス	20	1	17	0	38	2
女子バレー	19	2	0	0	21	0
バスケ	34	12	0	9	55	6
バドミントン	16	6	10	0	32	1
吹奏楽	0	20	0	6	26	0
合計	117	43	38	23	221	12

非常に満足・満足
83%

肯定的な満足度×期待した価値



2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 複数の中学校単位で4つの拠点により取組みを行ったが、民間事業者、関係団体、中学校との連絡調整等を担うコーディネーターを配置せず、教育委員会事務局が、その役割を担うこととした
- 民間事業者においては、大阪エリアの役職者が各拠点の統括責任者を務め、教育委員会事務局や学校の管理職等と連絡調整や、活動日の運営管理を行った。活動における安全管理、緊急時の対応等について整備を行った
- 活動中の生徒同士のトラブルや事故対応を含む管理責任や賠償責任について責任主体を契約上明確に規定し、共通理解を図った
- 生徒や保護者へは、募集リーフレットを対象校の生徒全員に配布した

取組の成果

対象校の管理職からのヒアリングより：

- 活動日時や場所の決定の段階で、日程調整や既存の部活動との兼ね合いが難しく、周知までに時間を要した
- 決定後の事前準備や鍵の管理、当日の運営などで関係者間で問題も起きず、円滑に実施できた

特に工夫した事項

- 中学校との活動内容を調整し日時場所等を設定し当日の運営を行う民間事業者とは本事業の理念や具体的な方策が共有できるよう頻りに連絡調整を行い、円滑な実施となるよう努めた
- 募集リーフレット記載の二次元コードから民間事業者の部活動貴管理システムにアクセスして申込み方式を採用。集合場所や持ち物等の詳細情報や当日の出欠確認もシステム上で管理し、生徒や保護者の端末から確認できるようにした
- 周知について、活動内容を伝える広報誌を追加配付した

今後の課題と対応方針

- 事前準備を円滑に進めるため、対象校の管理職のほか顧問教員との打合せや随時の意見交換の場を充実させ、コーディネーターの役割を果たせるようにする
- 民間事業者、学校その他の関係者による協議会により、課題のフィードバックを早く行い、改善につなげる
- 生徒や保護者への周知を一層進めるため、生徒・保護者への案内チラシ及び広報誌を年間5回程度配布する

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

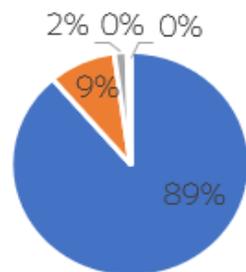
取組事項

- 各種目2名体制とし、主任指導者は民間事業者の社員を配置、副主任指導者は民間事業者が地域人材を募集する形式を採用
- 副主任指導者には、本市の部活動指導員や地域クラブでの指導を希望する本市の兼職兼業教員も応募できることとした
- 応募のあった者に対しては、民間事業者において、学校部活動の指導に必要なオンライン研修を実施したうえで指導にあたることとするともに、指導に係る質の確保を行った。なお、本市の顧問教員や部活動指導員に対する研修との整合性の確保にも意を配った
- 各種目のトッププレイヤーを「プロ」「エキスパート」指導者として招聘し、プロアスリートによる指導日を設定し、生徒にとって魅力的な内容になるよう努めた

取組の成果

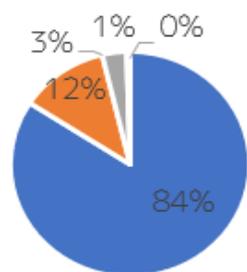
- 指導者に関して「アドバイスをしてくれた」「生徒のやる気を引き出してくれた」「納得のいく説明をしてくれた」「生徒の声に耳を傾けてくれた」以上4項目すべてにおいて「非常に満足した」という回答が80%以上であった。生徒の要望・課題を的確に理解し、適切な指導が行っていたことが伺える
- 指導に対するコメントとして、「優しく丁寧に教えてくれた」「いつもと違う指導者で緊張感があり楽しかった」という感想が多く見られた。生徒の保護者からは、「部活動とは違った練習方法だったので勉強になった」「専門の指導者のほうが安全性も高いと思う」という感想があり、同時に「普段とは違う指導者に指導してもらうこと」を期待する声が増え、生徒保護者ともに満足度高い取組となった
- プロからの指導に対しては、「技術・精神面について学べた」「意識が変わった」「貴重な体験となった」という感想があった。プロ講師の指導を受けたことにより、「競技に対する意欲が向上した」というコメントが多かった

【指導者はアドバイスをしてくれた】



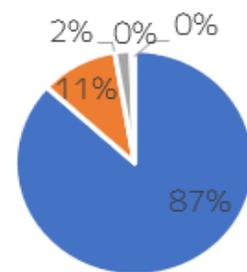
- 非常に満足した
- 満足した
- どちらともいえない
- 満足しなかった
- 全く満足しなかった

【指導者は生徒のやる気を引き出してくれた】



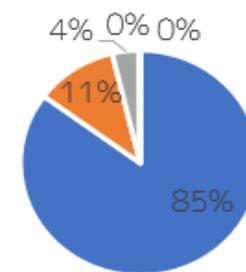
- 非常に満足した
- 満足した
- どちらともいえない
- 満足しなかった
- 全く満足しなかった

【指導者は納得のいく説明をしてくれた】



- 非常に満足した
- 満足した
- どちらともいえない
- 満足しなかった
- 全く満足しなかった

【指導者は生徒の声に耳を傾けてくれた】



- 非常に満足した
- 満足した
- どちらともいえない
- 満足しなかった
- 全く満足しなかった

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

特に工夫した事項

- **社員指導者の活用**
各競技歴10年超の指導者で、指導に関する様々な研修を受けた社員を指導者として配置
- **地域からの人材の活用**
募集段階で本事業への理解を深めるため、事前の告知、面接等に力を入れ、地域からのアルバイト講師18人を確保
- **兼職兼業教員の活用**
東住吉区では兼職兼業の指導者を副主任として配置、民間事業者と雇用契約を結び、研修等も実施
- **「プロ」「エキスパート」指導日の設定**
プロ講師と事前打合せを徹底し、本事業に対する理解を深め、本事業で最も重要目的とされる「生徒の成長」に共感できる講師を配置

【プロ講師一例】

都島区 A	野球男女	西村 龍次	プロ野球解説者 ヤクルト・ダイエー時代計5回開幕投手を務める
	サッカー男女	萬代 宏樹	指導者として活躍中 ベガルタ仙台、ジュビロ磐田等Jリーグで活躍
	男子バスケ	堤 啓士朗	高校時代インターハイ2位 国体優勝 B.Leagueで11年活躍
	陸上	荒川 大輔	世界陸上走幅跳日本代表 2017年世界マスターズ走幅跳金メダリスト

今後の課題と対応方針

- 保護者からは、「顧問との意見や練習方法が違うことで子供が混乱するのではないか」「個人情報や個人の特性を学校以外に共有することが不安」という声があった。保護者の理解を進めるために、①高いスキルを持った指導者の確保、②保護者への理解促進に向けた丁寧な説明 に努めていく必要がある
- 指導に熱意をもつ顧問教員や部活動指導員の活用を積極的に進める

2. 実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

取組事項

- 学校単独の部活動の地域移行ではなく、4つの拠点で2～3中学校が合同で活動する形式を取り、活動場所を融通することや、副主任指導者として活動する兼職兼業の顧問教員や部活動指導員などの配置において対象校以外の学校からの応募を可能とし、面的・広域的な取組みとなるよう配慮した

取組の成果

- 参加生徒対象のアンケート結果より、地域クラブ活動に期待していることの中で、「他校生との練習」について、「よくあてはまる」が55%、「ややあてはまる」が23%という回答結果となり、合計78%の参加生徒が「他校生との練習」について肯定的に回答した
- 副主任指導者として、一般29名、学生33名の地域人材の他、本市の兼職兼業教員18名、部活動指導員5名が指導に参加した

特に工夫した事項

- 都島スポーツクラブでは、高校と連携し、指導者のサポート役として高校生も参加した
- 東住吉区では、対象中学校の校下小学校6年生も参加対象者に含めた
- 東淀川区では、既にラグビー部が合同部活動を採用していたこともあり、対象校に加えて他区中学校のラグビー部生徒も取組みの参加対象者に含めた

今後の課題と対応方針

- 2～3校程度の拠点を基本としつつ、実情に応じて校数を増減し、より実態に即したモデル事業とする
- 対象校以外の施設（新設校、大学、民間施設など）の活用を検討する
- 部活動指導員の活用とあわせた合同部活動・拠点校方式を推進し、小規模校などニーズの高いのところから、学校単位の部活動をグループ単位に移行し、地域連携を並行して推進する

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保証・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

- 所属する学校部活動種目に関係なく、やりたい種目を毎回選択する方式とし、学校部活動種目にはない種目を設定
- 各種目3回の活動のうち1回をプロアスリート（プロチーム元選手・オリンピック出場経験者等）による指導日を設定

取組の成果

- 地域クラブ活動の満足度については、「非常に満足した」「満足した」に回答した生徒の合計は80%以上となり、参加した生徒にとって、非常に満足度の高い取組となった
- 右のアンケート結果からも、取組に対し、非常に高い割合で肯定的であったことが分かる

特に工夫した事項

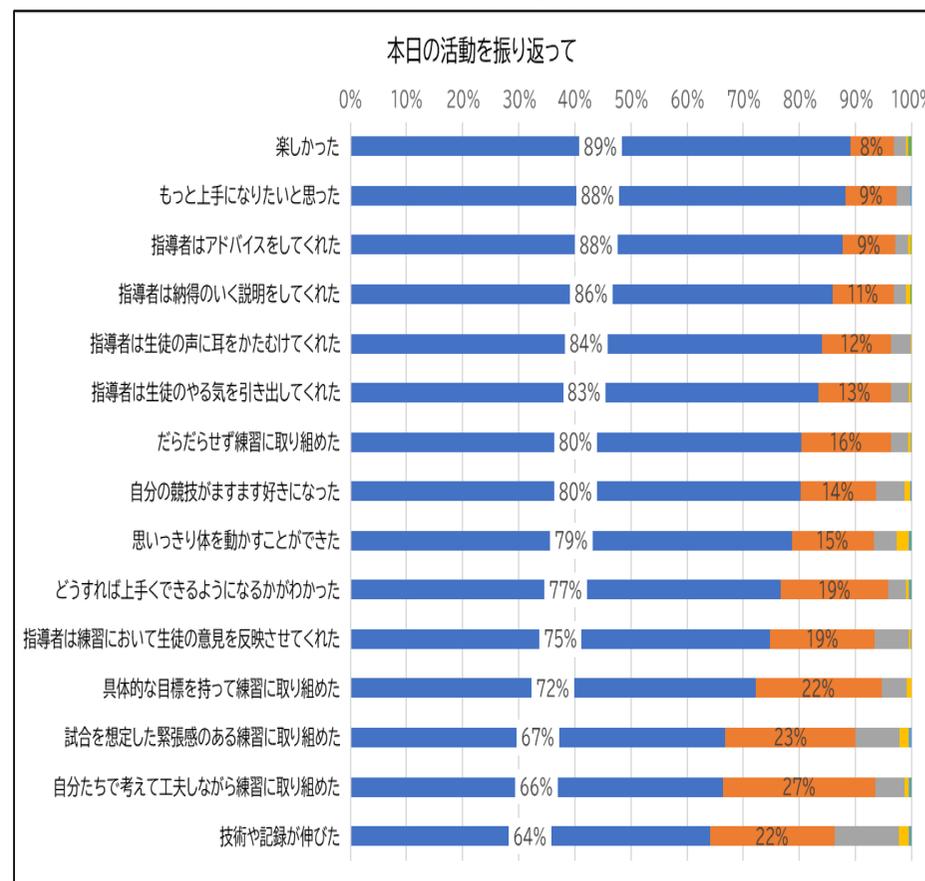
- 申込み方法は、案内リーフレットの二次元コードよりエントリーし、申し込み期限を実施日の3日前まで可能とした
- 一部拠点において、小学生の参加や、高校生とともに活動できる機会を設定した

今後の課題と対応方針

- 学校部活動も継続している中での実施となり、「活動日」「活動場所」の調整が課題である
⇒顧問教員との事前打合せや随時の意見交換等
- 参加者数の確保が課題である
⇒周知方法の工夫改善

活動を振り返って(参加した生徒 回答数651)

5よくあてはまる 4ややあてはまる 3どちらともいえない 2あまりあてはまらない 1まったくあてはまらない



※参加生徒アンケートより

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

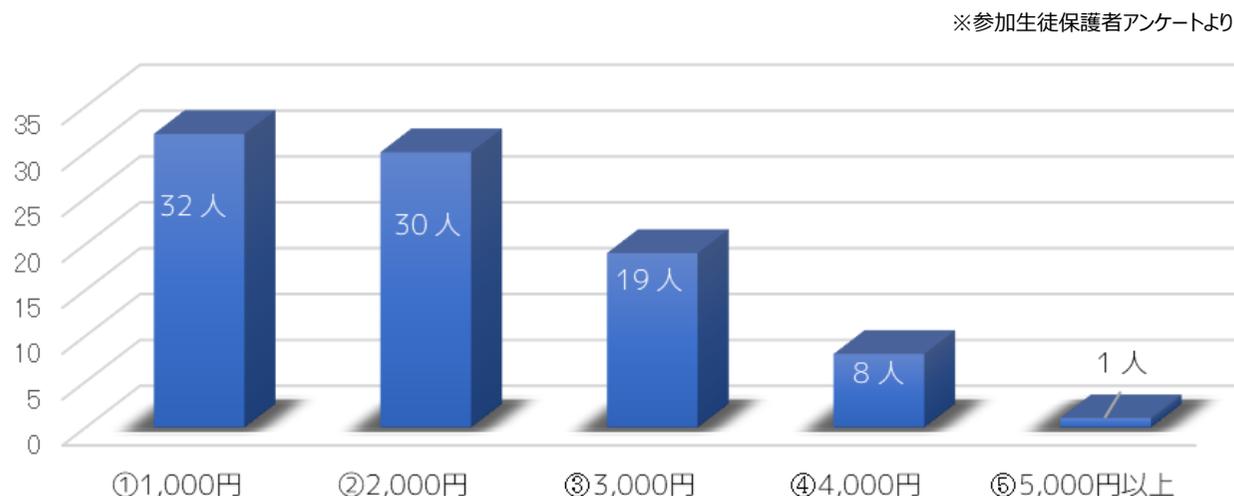
▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項

- 参加生徒保護者を対象にアンケート調査を実施したところ、90人の保護者から回答があった
- アンケート調査の質問項目に、「今回参加されたような休日の地域移行のモデル事業が会費制（受益者負担）となった場合、いくらであればお子さまを参加させてもよいと思いますか」の質問を実施

取組の成果

- 地域クラブ活動を1カ月に4回実施した際の受益者負担について、回答者の36%が1,000円、30%が2,000円と回答
- 4,000円（1回1,000円）については約9%という結果となった。



今後の課題と対応方針

- 今年度については、保険が委託事業とパッケージになっており、別で加入する必要がなく参加費用負担がなかった。来年度のモデル事業も同様の形で実施するが、将来にわたり子どもたちの持続可能なスポーツ・文化芸術活動に触れる機会の確保に向け、経費負担のあり方についての検証が必要

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

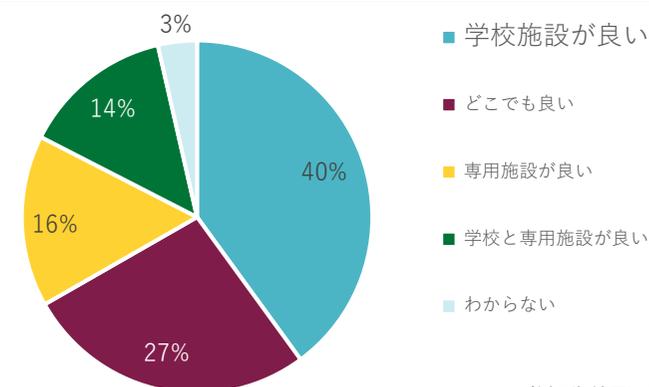
▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項

- モデル事業対象中学校の学校施設を使用
- 桜宮スポーツクラブにおいては、桜宮高校施設等を使用

取組の成果

- 参加者アンケートの結果より
- 地域クラブの活動場所として「学校施設が良い」という生徒が最も多く、40% 次いで「どこでも良い」と答えた生徒が27% 「専用施設が良い」と答えた生徒が16%



※参加生徒アンケートより

特に工夫した事項

- 学校施設を利用するため、学校との事前打ち合わせを綿密に行った。
 - ① 自転車を停める場所が無い中学校での開催時は、混乱を避けるため事前に自転車での来校禁止の案内を行った。
 - ② 鍵の管理、避難経路等について学校と連携し打合せを複数回行った。
 - ③ プロ講師から施設に関する事前問い合わせや、細かな内容も学校側と事業者で随時確認対応を行った。
教員より「初の試みだったが、準備や当日の流れなど、問題も起きず、スムーズにできよかった。」という意見

今後の課題と対応方針

- 参加者アンケート結果から、今後も通い慣れた学校施設を利用するとともに、拠点の拡充についても検証していく。
- そのためにも定期テストや公式戦を考慮したスケジュールや設備確認等、学校との密な連絡が必要である
- 「自宅から近ければ地域クラブへ移行して構わない」「場所が遠くなると心配」という保護者からの声があった。通っている学校以外での開催となる場合は、丁寧な説明が必要がある

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：ク：障がいのある生徒が活動できる環境づくりと健常者と共に参加できる活動の実施

取組事項

- 桜宮スポーツクラブで、障がいの有無や水泳の得手不得手に関係なく楽しめることをコンセプトにした「みんなの水泳教室」を実施した

取組の成果

- 参加対象校の特別支援学級に在籍する生徒へ積極的に周知し、全介助が必要な生徒2名のほか難聴やADHDの生徒等も参加した。
- 参加生徒の半数以上が昨年度も参加しており、3年生の参加者の中には来年度の取組みに参加できないことを残念がっている生徒もいるなど、期待の高い取組となっている

特に工夫した事項

- 全介助が必要な生徒1人につき、指導者2人体制とし、配慮が必要な生徒については、参加生徒保護者への聞き取りを丁寧に行った
- 救急搬送時のルート確認等を実施し、緊急時の対応に努めた
- 教員免許状を取得している事務局スタッフを8名程度配置した
- 全介助が必要な生徒が在籍している特別支援学級担当教員及び、中体連水泳専門部の教員2名も動員し、安全管理を徹底した
- 桜宮高校の水泳部の生徒がボランティア参加し、中学生のサポートに努めてくれた

今後の課題と対応方針

- 参加した生徒・保護者からも好評価を得たことから、引き続きすべての参加生徒が楽しめる環境づくりに努める。
- 今後本取組の継続実施に、スタッフの確保及び指導者の報酬等について運営するための資金確保について課題が残る



2. 実証内容と成果

参考資料 (活動写真)



都島区【バスケットボール】



都島区【陸上】



西区【サッカー】



西区【空手】

2. 実証内容と成果

参考資料 (活動写真)



東住吉区【バレーボール】



東淀川区【野球】



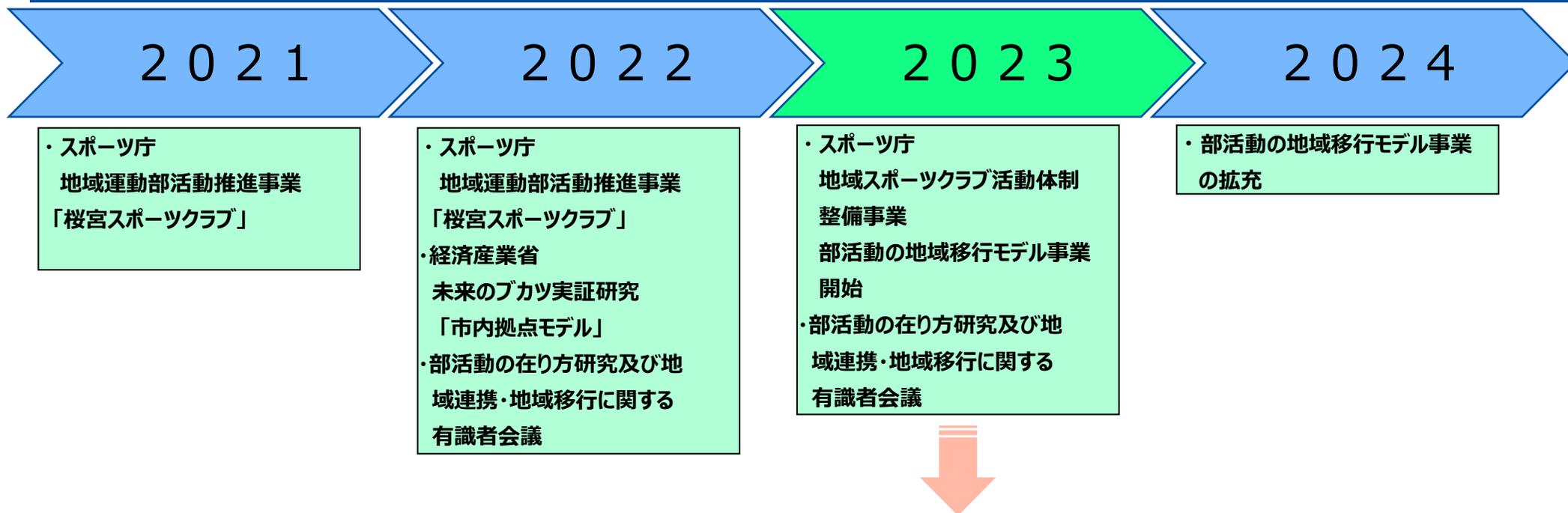
桜宮スポーツクラブ【ボート】



桜宮スポーツクラブ【ダンス】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



2023 事業者と学校との連携



【課題点】

- ・2~3校で拠点を組んでのモデル事業のため、複数の学校との連絡調整が必要となり、日時場所の決定に時間を要した
- ・プロ指導者のスケジュール調整に難航し、リーフレット配付のタイミングが遅れた
- ・生徒・保護者への周知方法の改善が必要である

【R6に向けて】

- ・顧問教員との事前打合せや随時の意見交換等を重ね、モデル事業や地域移行への一層の理解の浸透を図り、日時場所の決定が円滑に進むよう連携を図る
- ・各拠点において、生徒・保護者への案内リーフレット及び広報誌等の案内回数を増やす

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

	R5	R6	R7
地域連携	部活動指導員拡充 530名 合同部活動・拠点校方式の推進	部活動指導員拡充 580名	部活動指導員拡充 予定
地域移行	モデル研究	4拠点において実施回数を拡充	3年間のモデル事業で検証を重ね R8以降の方向性について検討
①生徒・保護者の理解促進	事業の周知	生徒・保護者及び、学校（顧問教員）への理解促進	地域クラブ定着
②受け皿・指導者確保	民間事業者・指導者の確保	部活動指導員や地域の指導者、兼職兼業教員の積極的な活用	
③内容の充実	生徒・保護者へのニーズ調査 次年度の実施種目・回数等検討	ニーズを反映した活動種目の実施	
④学校施設の利用環境の整備	鍵の管理方法等調整	モデル事業対象校以外の施設の活用を検討	
⑤受益者負担	活動経費と参加者による費用対効果検証 費用の保護者アンケート・検証	受益者負担の検討	

3. 今後の方向性

本市モデル事業の目指すものと 整理すべき主な課題

生徒にとって…

- ✓ ニーズにマッチしたより望ましいスポーツ・文化芸術環境の追求
- ✓ 少子化の進展等の将来を見据えたスポーツ・文化芸術環境の確保
- ・活動頻度の選択
- ・種目の選択
- ・習熟レベルの選択
- ・拠点による活動の実施
- ・他校生や多様な世代との交流

教員にとって…

- ✓ 部活動の指導に負担を感じている教員の救済・負担軽減
- ✓ 部活動の指導に熱意を持つ教員の「やりがい」への配慮

保護者・地域にとって…

- ✓ 「地域移行」≡「今ある部活動を地域にそのまま可能な限りシフト」ではなく、多様な世代が参加する地域のスポーツ環境の充実

【整理すべき主な課題】

- ① 学校部活動との関係・・・学校の管理責任、教員の関与の整理
- ② 利用施設・場所の確保・・・施設利用の調整、利用コストへの対応
- ③ 指導者の質と量の確保・・・必要数の確保、指導人材に対する研修・指導・管理への対応
- ④ 受け皿の確保と持続性の担保・・・公的負担と受益者負担の在り方、収益化の検討

モデル事業の拡充と地域連携の推進の両面から、既存の部活動のマインドセットとこれらの課題対応に取り組む